

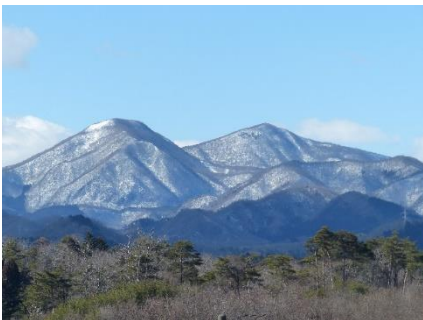


# 未来を夢見て Season3

2023/2/24 No. 176

## 模倣から独創へ～大和町教育論文表彰式に参加して～

2月22日（水）。雨水も過ぎて、少しずつ春の兆しを感じられるようになった今日この頃ですが、今週になって寒さが戻ってきたようです。それでも朝日に照らされた泉ヶ岳は今日も美しい稜線を見せてくれたりしました。今日は午後大和町役場で教育論文の表彰式があり、小野小学校からも校務で参加できない3名の先生方を除いて9名が参加しました。今年の論文で特筆すべきは、再任用の大ベテラン豊嶋先生が自らの実践を自主的に執筆されたこと、また教職2年目の桃子先生と小室先生も初めて論文に挑戦しまし



た。表彰式後に行われた実践発表では、菅原浩一先生の実践発表が行われました。浩一先生の実践の素晴らしさは理科の特性（実験や観察）に基づいて子どもの事実を丹念に記録して検証していること。また、子どもたちへの愛に満ちあふれていればこそ、「理科で子どもを育てる」というぶれない信念の強さに共感した先生方も多かったことと思います。閉会で（私も浩一先生に教えてもらいたい）と語った大和中の山田校長先生のお言葉も全くその通りだと思いました。

標題の「模倣から独創へ」は開会で上野教育長先生が触れた藤原正彦先生の言葉。今回の論文を同僚に知らせ、まず実践や論文の執筆を真似ることから、その先生なりのオリジナルの研究を生み出して欲しいというねらいが込められているように思いました。



来週はいよいよ3月。卒業式のカウントダウンとともに、私の教職生活もゴールが見えてきたようです。まだまだ小野小学校でやり残したことはありますが、礼儀正しい子どもたちや和やかな中にも真剣に合唱に取り組む職員の皆さんの姿を見て、本当によい学校にお世話になっていたことを改めて感じています。

来週は吉川先生（聖和学園短期大学 学長）から6年生の子どもたちと職員合唱の指導をいただきます。久しぶりの先生との再会に気持ちはいやでも高ぶります。今回の研修も小野小の子どもたちや先生方の財産となることを信じています。

（文責：手代木）